

平成29年2月19日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(47回公演)報告

29.2.16 深谷市総合福祉センター止揚の杜 深谷市岡

栗原さんの現役時代の職場の同僚で、現在施設長をしている内田さんのご依頼で初めて公演が実現しました。午前中「くまびあ」で定例の練習をした後、今日は久しぶりに正装で臨むため帯の付け方など少々チェックをして準備しました。

今日の公演先は「岡部道の駅」に近い場所にあり、「くまびあ」で皆さんで昼食を摂った後早々に向かいました。公演先には午後1時前につき挨拶し用意された部屋に案内され、着付けに取りかかり、正装に着替え終わった時には1時30分になっていました。正装姿はいつでも気が引き締まります。定刻の2時前には約40人のデイサービスの方々と同施設に併設されている保育園の園児10人と先生達が会場に待っていてくれ、施設の担当者からのクラブの紹介で公演が始まりました。

先ず我々側の短い挨拶の後、舛田さんの音頭で「南京玉すだれ」の演技が始まりました。口上に合わせ自在に操る「玉すだれ」の演技に時々「ワー」という驚きの声もきかれ、我々も張り切って舞うことができました。その後「玉すだれ」の独特な動きや発祥を説明し、各5人の得意技を披露して次の「きよしのズンドコ節」に進みました。曲が流れるとそれに合わせ大きな手拍子が鳴り渡り、会場が次第に盛り上がっていきました。次の根岸さんの「ササゼさん体操」では、皆さん知っている曲なので、最初から全員で手足や体を動かし楽しい雰囲気になりました。最後は「東京五輪音頭」で、18日の熊連協芸能祭で披露する演技で、5人の気持ちが一緒になって綺麗にまとまりました。これで本日の演技が終わりですが、会場からアンコールの声がかかり、それに応えて約60分の公演が終わりました。



